

日本ユニシス株式会社

2015年3月期3Q 決算説明会（2015年2月3日開催）

主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

【質問者A】

Q： 不採算について、3Qの実績と4Qの見通し金額を改めて確認しておきたい。また、3Qに引き当てた不採算案件の状況を教えてほしい。

A： 3Qは10億円の引当を計上した。4Qは現時点で特定の案件はないが、リスクとして5億円を見通しに織込んでいる。

3Qに引当を行ったのは、前期に引当計上した開発中の案件である。1月から予定通りシステムテストに入っているが、難易度の高い大規模システムであることから、短期間でテストを実施し、確実に本番稼動を迎えるために、要員計画を慎重に見直した結果、3Qで追加引当を行った。

Q： 販管費については、3Qまでの合計では前年同期比で減少しているにも関わらず、4Qは前年同期比で増加する見通しとなっている。4Qの販管費を多めに見積っているのではないか？

A： 販管費については、次期中期経営計画に向け戦略的投資を行っていく方針に変更はないが、足元の削減効果や、一部の戦略的支出を見ても、現時点では通期の販管費は前期並の540億円程度で終わるのではないかと考えている。

【質問者B】

Q： 3Qにおいては、新たな不採算は発生しておらず、前期から継続している大型案件に対して、10億円の追加引当を行ったということか。

A： その通りである。新たに不採算化した案件はない。

（注）本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

【質問者 C】

Q: 3Q の受注高は、前年同期にアウトソーシング大型案件を計上していることから、前年同期比では減少していると思うが、足元ではどのような業種で、どのような案件が積み上がってきているのか具体的に教えてほしい。

A: 大型案件は少ないものの、システムサービスや、金融機関向けのアウトソーシング案件などが着実に積み上がってきている。

Q: 売上が弱いことの要因の1つとして、採算性を重視していることもあると思うが、足元で受注している案件の採算性は向上しているのか？

A: 採算性については、個別の案件ごとに異なるので一概には言えないものの、利益にこだわるということもあり、総じて利益率は上がってきているものと了解している。

Q: 前期 4Q は採算性が急激に悪化して計画未達となったが、今期 4Q の利益予想の前提を教えてほしい。

A: アウトソーシングが着実に増収増益傾向にあることや、不採算の減少を見込んでいること等もあり、4Q の営業利益は、前年同期比+5 億円増益の 74 億円を見込んでいる。

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。